

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
【発行日】 令和 6 年 3 月 6 日(2024.3.6)

【公開番号】 特開 2023-155262(P2023-155262A)
【公開日】 令和 5 年 10 月 20 日(2023.10.20)
【年通号数】 公開公報(特許)2023-198
【出願番号】 特願 2023-127717(P2023-127717)
【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395(2006.01)
A 6 1 K 31/5517(2006.01)
A 6 1 K 31/7068(2006.01)
A 6 1 K 33/243(2019.01)
A 6 1 K 45/00(2006.01)
A 6 1 K 47/68(2017.01)
A 6 1 P 35/00(2006.01)
A 6 1 P 43/00(2006.01)
A 6 1 K 38/05(2006.01)
A 6 1 P 1/00(2006.01)
A 6 1 P 1/18(2006.01)
A 6 1 P 15/00(2006.01)
C 0 7 K 16/18(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 K 39/395 T
A 6 1 K 31/5517
A 6 1 K 31/7068
A 6 1 K 33/243
A 6 1 K 45/00
A 6 1 K 47/68
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 43/00 1 2 1
A 6 1 K 38/05
A 6 1 K 39/395 M
A 6 1 P 1/00
A 6 1 P 1/18
A 6 1 P 15/00
C 0 7 K 16/18 Z N A

20

30

【手続補正書】

【提出日】 令和 6 年 2 月 26 日(2024.2.26)

40

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

癌を有する対象の処置における使用のための、抗体薬物複合体（ADC）であって、前記 ADC が、抗体又はその抗体結合フラグメント、および抗癌剤を含み、

ここで、前記抗体またはその抗原結合フラグメントが、6 つの相補性決定領域（CDR

50

) : C D R H 1、C D R H 2、C D R H 3、C D R L 1、C D R L 2、および C D R L 3
を含み、
ここで

(a) C D R H 1 は、配列番号 1 7 として記載される配列を含み、C D R H 2 は、配列
番号 1 9 として記載される配列を含み、C D R H 3 は、配列番号 2 1 として記載される配
列を含み、C D R L 1 は、配列番号 3 9 として記載される配列を含み、C D R L 2 は、配
列番号 4 1 として記載される配列を含み、C D R L 3 は、配列番号 4 3 として記載される
配列を含み；または

(b) C D R H 1 は、配列番号 6 1 として記載される配列を含み、C D R H 2 は、配列
番号 6 3 として記載される配列を含み、C D R H 3 は、配列番号 6 5 として記載される配
列を含み、C D R L 1 は、配列番号 8 3 として記載される配列を含み、C D R L 2 は、配
列番号 8 5 として記載される配列を含み、C D R L 3 は、配列番号 8 7 として記載される
配列を含む、前記 A D C。

10

【請求項 2】

抗癌剤が、化学療法剤である、請求項 1 に記載の使用のための A D C。

【請求項 3】

抗癌剤が、アブラキサン（パクリタキセルアルブミン－安定化ナノ粒子製剤）、アドル
シル（フルオロウラシル）、アフィニトール（エベロリムス）、エフデックス（フルオロ
ウラシル）、塩酸エルロチニブ、エベロリムス、フルオロプレックス（フルオロウラシル
）、フルオロウラシル、塩酸ゲムシタピン、ジェムザール（塩酸ゲムシタピン）、マイト
マイシン C、マイトザイトレックス（マイトマイシン C）、ムタマイシン（マイトマイシ
ン C）、パクリタキセルアルブミン－安定化ナノ粒子製剤、リンゴ酸スニチニブ、スーテ
ント（リンゴ酸スニチニブ）、およびタルセバ（塩酸エルロチニブ）、アルトレタミン、
アルケラン（メルファラン）、アバスチン（ベバシズマブ）、ベバシズマブ、カルボプラ
チン、クレード（シクロホスファミド）、シスプラチン、シクロホスファミド、シトキサ
ン（シクロホスファミド）、塩酸ドキソルビシン、D o x - S L（ドキソルビシン塩酸塩
リポソーム）、D O X I L（ドキソルビシン塩酸塩リポソーム）、ドキソルビシン塩酸塩
リポソーム、エバセット（ドキソルビシン塩酸塩リポソーム）、塩酸ゲムシタピン、ジェ
ムザール（塩酸ゲムシタピン）、ハイカムチン（塩酸トポテカン）、L i p o D o x（ド
キシソルビシン塩酸塩リポソーム）、リムパーザ（オラパリブ）、メルファラン、ネオザール
（シクロホスファミド）、トシル酸ニラパリブ－水和物、オラパリブ、パクリタキセル
、パラプラット（カルボプラチン）、パラプラチン（カルボプラチン）、プラチノール（
シスプラチン）、プラチノール－A Q（シスプラチン）、ルブラカ（ルカパリブカンシル
酸塩）、ルカパリブカンシル酸塩、タキソール（パクリタキセル）、チオテパ、塩酸トポ
テカン、ゼジュラ（トシル酸ニラパリブ－水和物）からなる群から選択される、請求項 1
に記載の使用のための A D C。

20

30

【請求項 4】

抗癌剤が、ゲムシタピンである、請求項 1 に記載の使用のための A D C。

【請求項 5】

抗体または抗原結合フラグメントが、癌の表面に曝露されたプレクチン 1 に特異的に結
合する、請求項 1 に記載の使用のための A D C。

40

【請求項 6】

抗体または抗原結合フラグメントが、配列番号 2 と少なくとも 8 5 % の同一性を有する
アミノ酸配列を有するペプチドに特異的に結合する、請求項 1 に記載の使用のための A D
C。

【請求項 7】

抗体またはその抗原結合フラグメントが、配列番号 2 として記載されるアミノ酸配列を
特異的に結合する、請求項 1 に記載の使用のための A D C。

【請求項 8】

抗体またはその抗原結合フラグメントが、以下に記載されるアミノ酸配列を含む重鎖可

50

変領域および軽鎖可変領域を含む、請求項 1 に記載の使用のための A D C :

(a) それぞれ配列番号 2 3 および 4 5 ; または

(b) それぞれ配列番号 6 7 および 8 9 。

【請求項 9】

癌が、癌細胞の表面のプレクチン-1 の発現によって特徴づけられる、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の使用のための A D C 。

【請求項 1 0】

癌が、卵巣癌、食道癌、頭頸部扁平上皮癌、または膵臓癌であり、場合により、前記膵臓癌が、膵管腺癌 (P D A C) である、請求項 9 に記載の使用のための A D C 。

【請求項 1 1】

対象が、哺乳動物であり、場合によりヒトである、請求項 9 に記載の A D C 。

10

20

30

40

50